

ロータリーの希望、 職業奉仕の可能性

ながらく「ロータリーの金看板」とまで云われてきた「職業奉仕」。

私たち日本のロータリアンの多くは、「職業奉仕」をロータリーの根幹と捉え、ロータリアンであることの拠り処の一つとして育んできました。

一方、日本以外の国々のロータリーでは、「職業奉仕」と称しロータリアン個人の職業上のスキルを利用した奉仕活動が活発に行われており、

「職業奉仕」に関しては、日本と世界とでその考え方に大きな隔たりがあると云えます。

2020年10月、日本のロータリーはいよいよ100周年を迎えます。

本講演会では今一度この問題を取り上げ、次なる100年に向け、ロータリーが、私たちのクラブが、さらに発展していくにはいかにあるべきか

ーロータリアン個人としてまたロータリークラブとして「職業奉仕」にどのように取り組んでいくべきかーについて、

共に考える機会としたいと思います。

職業奉仕講演会



講師

松宮 剛氏 (茅ヶ崎湘南RC)

国際ロータリー第2780地区パストガバナー
元国際ロータリー理事

講演と鼎談



講師

本田博己氏 (前橋RC)

国際ロータリー第2840地区パストガバナー
日本のロータリー100周年 ビジョン策定特別委員会 委員長

国際ロータリー第2650地区 2018-19年度 職業奉仕講演会

日時

2019年 3月24日(日) 13:00開演 (開場・受付12:00～)
16:15終了予定

会場

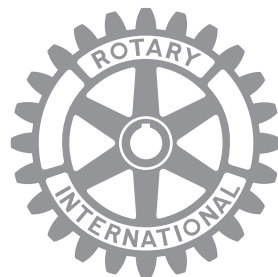
京都テルサホール JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約15分、
又は、地下鉄九条駅4番出口より西へ徒歩約5分

登録料

2,000円 所属クラブの事務局を通してお申込みください。

主催 国際ロータリー第2650地区 2018-19年度 職業奉仕委員会

(写真) 全米ロータリークラブ連合会 第1回大会(1910年 シカゴ)～「源流の会」アーカイブスより



E-mail hshimada@rid2650.gr.jp